

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	音楽 I	2単位	1年	選択必履修
選択条件				
対象者	1年生選択者（1講座につき20名まで）			
取得資格				
学習のアドバイス	音楽を形づくっている要素の働きを聴き取りましょう。また、音楽から感じ取ったことを言葉で表わしましょう。やる気を持って取り組みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 教育芸術社「MOUSA I」 <実習費> 200円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	曲にふさわしい発声で歌おう （「校歌」、「翼をください」、「Lemon」、）	曲種に応じたさまざまな発声の方法について学び、それぞれの曲を歌う。 楽譜の正しい読み方や書き方を理解する。	ワ 課 小	ワ 課 発	観 発
5	楽譜の読み方 書き方を知り、リズム アンサンブルで体を使って音楽を表現しよう	ボディーパーカッションやコップを用いたリズム アンサンブルを行い、アンサンブルの楽しさを味わう。	ワ 課 小	ワ 課 発	観 発
6	（「Plymouth Rock」、 「Clap, Tap with CUPS !」）				
7	リコーダーでアンサンブルを楽しもう （「天国と地獄」、「c-a-f-f-e-e」、「見上げてごらん夜の星を」）	リコーダーの正しい奏法を身に付け、曲を演奏する。 カノンや二重奏でアンサンブルをする。	ワ 課 小	ワ 課 発	観 発
	コード進行をもとにメロディーを創作しよう （『「コード進行」をもとにメロディーをつくらう」、 「コードネーム」）	コードの構成音をもとに、音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる。	ワ 課 完	ワ 課 完 発	観 発

9	表現を工夫してギター演奏やアンサンブルをしよう (「愛のロマンス」、「第3の男のテーマ」、「日曜日よりの使者」)	ギターの正しい奏法を身に付け、TAB譜や、コード表を見ながらメロディーや伴奏パートを演奏し、弾き歌いをする。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発	観 発
10					
11	ミュージカルを鑑賞し歌ってみよう (「CATS」、「Memory」)	劇中のシーンを踏まえ、英語の語感を生かして歌う。	ワ 課 完	ワ 課 完	観 発
12	ミュージックベル合奏に挑戦しよう (「きらきら星」、「きよしこの夜」)	リズムやメロディーを意識しながらミュージックベルで合奏をする。	ワ 課	ワ 課 発	観 発
1	日本の音楽に親しもう。 (「さくら」、「六段の調べ」、能楽、「山中節」)	民謡の発音や、言葉の発声、体の使い方など留意して歌う。琴の調弦や押手など、正しい奏法を学び、曲を演奏する。	ワ 課 完	ワ 課 完 発	観 発
2	世界各地の音楽の味わい歌ってみよう (「京畿道アリラン」、「美しいエンメンタール」)	世界の諸民族の音楽について学び、楽曲を鑑賞する。	ワ 課 完 完	ワ 課 完 発	観 発
3	オペラに親しみアリアに挑戦しよう (「カルメン」、「ハバネラ」)	G,ビゼーについて学び、楽曲を鑑賞する。曲の特徴を生かしてアリアを歌う。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発	観 発

評価方法

: ワークシート
 : 課題
 : 完成作品
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	音楽 I	2 単位	2 年	選択
選択条件	1 年生で音楽 I を選択していない生徒			
対象者	2 年生 進学系列人文コース、ビジネス系列 (1 講座につき 20 名まで)			
取得資格				
学習のアドバイス	音楽を形づくっている要素の働きを聴き取りましょう。また、音楽から感じ取ったことを言葉で表わしましょう。やる気を持って取り組みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 教育芸術社「MOUSA I」 <実習費> 200 円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	曲にふさわしい発声で歌おう (「校歌」、「翼をください」、「Lemon」)	曲種に応じたさまざまな発声の方法について学び、それぞれの曲を歌う。 楽譜の正しい読み方や書き方を理解する。	ワ 課 小	ワ 課 発	観 発
5	楽譜の読み方 書き方を知り、リズム アンサンブルで体を使って音楽を表現しよう	ボディーパーカッションやコップを用いたリズム アンサンブルを行い、アンサンブルの楽しさを味わう。	ワ 課 小	ワ 課 発	観 発
6	(「Plymouth Rock」、「Clap, Tap with CUPS !」)				
7	リコーダーでアンサンブルを楽しもう (「天国と地獄」、「c-a-f-f-e-e」、「見上げてごらん夜の星を」)	リコーダーの正しい奏法を身に付け、曲を演奏する。 カノンや二重奏でアンサンブルをする。	ワ 課 小	ワ 課 発	観 発
	コード進行をもとにメロディーを創作しよう (「『コード進行』をもとにメロディーをつくろう」、「コードネーム」)	コードの構成音をもとに、音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる。	ワ 課 完	ワ 課 完 発	観 発

9	表現を工夫してギター演奏やアンサンブルをしよう (「愛のロマンス」、「第3の男のテーマ」、「日曜日よりの使者」)	ギターの正しい奏法を身に付け、TAB譜や、コード表を見ながらメロディーや伴奏パートを演奏し、弾き歌いをする。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発	観 発
10					
11	ミュージカルを鑑賞し歌ってみよう (「CATS」、「Memory」)	劇中のシーンを踏まえ、英語の語感を生かして歌う。	ワ 課 完	ワ 課 完	観 発
12	ミュージックベル合奏に挑戦しよう (「きらきら星」、「きよしこの夜」)	リズムやメロディーを意識しながらミュージックベルで合奏をする。	ワ 課	ワ 課 発	観 発
1	日本の音楽に親しもう。 (「さくら」、「六段の調べ」、能楽、「山中節」)	民謡の発音や、言葉の発声、体の使い方など留意して歌う。琴の調弦や押手など、正しい奏法を学び、曲を演奏する。	ワ 課 完	ワ 課 完 発	観 発
2	世界各地の音楽の味わい歌ってみよう (「京畿道アリラン」、「美しいエンメンタール」)	世界の諸民族の音楽について学び、楽曲を鑑賞する。	ワ 課 完 完	ワ 課 完 発	観 発
3	オペラに親しみアリアに挑戦しよう (「カルメン」、「ハバネラ」)	G,ビゼーについて学び、楽曲を鑑賞する。曲の特徴を生かしてアリアを歌う。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発	観 発

評価方法

: ワークシート
 : 課題
 : 完成作品
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
音楽	ソルフェージュ	3単位	2年	選択
選択条件	1年生または2年生で「音楽Ⅰ」を履修した人に限る。			
対象者	2年生 進学系列人文コース（1講座につき10名まで <楽器の台数の関係上>）			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業は音楽性豊かな表現をするための基礎を学習します。 音楽を愛好し、主体的に取り組む姿勢で授業に取り組んで下さい。			
教材 実習費等	<教材> 自作プリント <実習費> 200円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	視唱、視唱及び聴音に関する知識や技能を身につけている。	楽譜を見て、旋律やフレーズのまとまりなどの情報を読み取り、音や音楽を聴いて、音の高さ、リズム、音程を正しく把握しながら音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考、判断し、音楽性豊かな表現の追及に活用できるものになっている。	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	音名や五線譜、音符・休符について理解し楽譜を読もう。 ・楽典（音名、音符・休符）	・音名、音符・休符について理解し、簡単な楽譜を読む。	□ 課 小	□ 課 小	□ 観
5	キーボードで簡単な旋律を演奏しよう ・「きらきら星」 ・「バイエル」	・キーボードの演奏方法を知り、簡単な旋律を片手（右手）で演奏する。	□ 課	□ 課 発	観 発
6	リズムや拍子について理解しよう ・楽典（リズム、拍子） ・新曲視唱	・リズムや拍子について理解し、手拍子や身体を使って表現する。 ・単旋律の簡単な楽譜を見て視唱する。	□ 課 小	□ 課 小	□ 観
7	楽譜を読んで曲のつくりを知ろう ・「春が来た」 ・「とんび」	・童謡の旋律を歌い、楽曲のつくりについて学習する。	□ 課 小	□ 課 小 発	観 発

9	<p>キーボードを両手で演奏してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バイエル」 ・「かっこう」 ・「チューリップ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・左手で単音の伴奏をつけて、両手で演奏をする。 	ワ 課	ワ 課 発	観 発
10	<p>音名を聴き取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単音の音名を聴いて答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノで演奏される単音について音高の違いを感じ取り、音名を答える。 	ワ 課	ワ 課	ワ 観
	<p>音部記号や反復記号について学習しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽典（音部記号、反復記号） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ト音記号やヘ音記号、反復記号などについて理解し、楽譜を読んで正しい音名や演奏順番を答える。 	ワ 課 小	ワ 課 小	ワ 観
11	<p>和音をつけてキーボードの演奏をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バイエル」 ・「よろこびのうた」 	<ul style="list-style-type: none"> ・左手で和音の伴奏をつけて、両手で演奏をする 	ワ 課	ワ 課 発	観 発
12	<p>2～3音の和音を聴き取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2音、3音の重なった音の聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・2、3音の音の重なりを感じ取り、音名や和音名を答える。 	ワ 課	ワ 課	ワ 観
	<p>調性、音階について学習しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽典（臨時記号、調性、音階） 	<ul style="list-style-type: none"> ・＃や♭を用いた楽譜についてそれぞれの調性の意味や音階の構成について理解し、演奏に応用する。 ・ 	ワ 課 小	ワ 課 小	ワ 観
1	<p>コード伴奏をつけて演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アンパンマンマーチ」 ・「ハッピーバースデートゥーユー」 	<ul style="list-style-type: none"> ・コードについて理解し、キーボードで演奏する。 	ワ 課	ワ 課 発	観 発
2	<p>音程や音階について理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽典（音程、音階） 	<ul style="list-style-type: none"> ・音と音の間隔や和音の音程について理解し、音程や和音の構造を知る。 ・長音階、短音階の違いを聴き取り、それぞれの音階の構造を理解する、 	ワ 課 小	ワ 課 小	ワ 観
3	<p>4～8小節の単旋律を視唱しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新曲視唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コールユーブンゲン」、「コンコーネ」を歌う。 ・4～8小節の単旋律の楽譜を視唱する。 	ワ 課	ワ 課 発	観 発

評価方法

ワ：ワークシート
課：課題
小：小テスト
発：発表
観：観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	器楽	2単位	3年	選択
選択条件	1年生または2年生で音楽Ⅰを履修した人			
対象者	3年生 進学系列人文コース、ビジネス系列（1講座につき10名まで<楽器の台数の関係上>）			
取得資格				
学習のアドバイス	一人に一台、キーボードが用意され、十分な学習環境が整っています。多くの実技課題が提示されます。やる気次第で多くの曲が習得できるようになっています。			
教材 実習費等	<教材> 自作プリント、ディアベリピアノ連弾曲集 <実習費> 200円（ファイル代）			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	楽曲の表現内容について理解を深め、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けている。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持っている。	音楽性豊かな表現を追求するために、学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	キーボードで簡単な旋律を演奏しよう ・ディアベリピアノ連弾曲集1、2 ・「きらきら星」 ・「かっこう」 ・楽典Ⅰ（階名、音符、休符、拍子、強弱） ○楽典小テスト、実技テスト	・キーボードの正しい弾き方を身に付け、片手・両手で簡単な旋律を演奏する ・五線譜の読み方、ト音記号、ヘ音記号を用いた音名の読み方、拍子、強弱記号について理解する。	ワ 課 小	ワ 課 発 小	ワ 観 発
5	リズムや拍子、強弱、を意識して演奏表現を工夫しよう。 ・ディアベリピアノ連弾曲集3～5 ・「ゆかいな牧場」 ・「ぶんぶんぶん」 ・楽典Ⅱ（反復記号、調性と調号） ○楽典Ⅱ小テスト、実技テスト	・リズムの特徴や拍子の強拍・弱拍を生かして演奏を工夫する。 ・強弱やその変化を生かして演奏を工夫する。 ・反復記号の読み方、調性、臨時記号の読み方を理解し、キーボード演奏に生かす。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発 小	ワ 観 発
6					
7					

9	両手で動きの違う曲を演奏してみよう。 ・ディアベリピアノ連弾曲集 6、7 ・「クラリネットこわしちゃった」 ・「虹の彼方に」	・キーボードの正しい弾き方を身に付け、両手で違う動きのある曲を演奏する ・音程、音階のつくりについて理解する。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発 小	ワ 観 発
10	・楽典Ⅲ (音程、音階) ○楽典小テスト、実技テスト				
11	コード伴奏をつけて演奏しよう。 ・ディアベリピアノ連弾曲集 8～10 ・「小さな世界」 ・「チムチムチェリー」	・キーボードの正しい弾き方を身に付け、和音を使った演奏をする	ワ 課 完	ワ 課 完 発	ワ 観 発
12	キーボードアンサンブルに挑戦しよう。 ・「かえるのうた」 ・「カノン」 ・楽典Ⅳ (コードネーム) ○楽典小テスト、実技テスト	・担当するパートに分かれ、キーボードのアンサンブルに挑戦する。 ・カノン進行が用いられた楽曲の演奏を通してコード進行について理解する。	ワ 課 完 小	ワ 課 完 発 小	ワ 観 発
1	学習したことを生かして、楽曲を発表しよう。 ・ディアベリピアノ連弾曲集 11、12 ・「ハイホー」 ・「アンパンマンのマーチ」	・キーボードの正しい弾き方を身に付け、アーティキュレーションを工夫しながら、個人で選択した曲を練習し、発表する	ワ 課 完	ワ 課 完 発	ワ 観 発
2	・「大きな古時計」 ・「渚のアデリーヌ」 ・「エンターティナー」 ○実技テスト				

評価方法

: ワークシート
 : 課題
 : 完成作品
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
音楽	〇郷土芸能	3単位	3年	選択
選択条件	1年生または2年生で音楽Iを履修した人			
対象者	3年生 進学系列人文コース、ビジネス系列 (1講座につき10名まで <楽器台数の関係上>)			
取得資格				
学習のアドバイス	和太鼓・三味線ともに専門の先生が指導します。 日本の伝統文化を愛好し、演奏できるようになりたいという主体的な態度で挑みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 自作プリント			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	和楽器の楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に和楽器を表現するために必要な技能を身に付けようとしている。	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができるようにしている。	音楽性豊かな表現を追求する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	和太鼓の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎の習得(構え方、バチの持ち方) ・基本となるリズムの復習と応用 ・発表会に向けて、演奏曲の練習「虫送り」「真」 	ワ 課 小	ワ 課 小 発	観 発
5					
6					
7					
9	和太鼓の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎の復習と応用① ・アクセントのついたリズムの復習と応用 ・発表会に向けて、演奏曲の練習「調和」など 	ワ 課 小	ワ 課 小 発	観 発
10					
11					
12	三味線の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・三味線の種類、楽器の構造、各部の名称、扱い方 ・発表会に向けて、演奏曲の練習「きらきら星」「ミッキーマウスマーチ」など 	ワ 課 小	ワ 課 小 発	観 発
1	和太鼓の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎の復習と応用② ・現代の奏法「燕返し」など ・発表演奏 	ワ 課 小	ワ 課 小 発	観 発
2					
	三味線の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の持ち方、構え方、姿勢 ・バチの持ち方、弦への当て方 ・発表演奏 	ワ 課 小	ワ 課 小 発	観 発

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	美術 I	2 単位	1 年	選択必修
選択条件				
対象者	1 年生選択者（1 講座につき 20 名まで）			
取得資格				
学習の アドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作しましょう。 課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 光村図書「美術 1」 <実習費> 6000 円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創作活動に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	「オリエンテーション」 美術とは何か	教科書の作品を鑑賞し、高校の美術 I のイメージを持ち美術の学びについて考える。	ワ	ワ	ワ 観
5	「文字のデザイン」 イメージに合った配色を考えよう	色の心理効果、配色の基本について学び、色彩構成をする。	ワ 課 完	ワ 課	課 ワ 観
6 7	「アニメーション」 しりとりをつなごう	さまざまな技法によるアニメーションを知り、撮影の仕方を工夫しコマ撮りアニメーションを制作する。	課 完	ワ 課 完	課 発 観
9 10	「生活を彩る」 模様で飾ろう	日本や諸外国の文様を鑑賞し、模様のデザインを考え、作った模様で日用品を飾る。	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観
11	「作家の生涯と作品」 葛飾北斎	葛飾北斎の作品を鑑賞し、その表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。	ワ 課	ワ 課	課 観
12	「版で表す」 詩の情景を木版画で表現しよう	浮世絵版画を鑑賞し、表現の特性やよさなどについて学び、詩から感じた情景を木版画で制作する。	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観
1 2 3	「抽象彫刻」 こころの中の感情を表そう	抽象作品を鑑賞し、表現の特性やよさなどについて学び、抽象彫刻を制作する。	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	美術 I	2 単位	2 年	選択
選択条件	1 年生で美術 I を履修していない生徒			
対象者	2 年生 進学系列人文コース、ビジネス系列 (1 講座につき 20 名まで)			
取得資格				
学習の アドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作しましょう。 課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 光村図書「美術 1」 <実習費> 6000 円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創作活動に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	「オリエンテーション」 美術とは何か	教科書の作品を鑑賞し、高校の美術 I のイメージを持ち美術の学びについて考える。	ワ	ワ	ワ 観
5	「文字のデザイン」 イメージに合った配色を考えよう	色の心理効果、配色の基本について学び、色彩構成をする。	ワ 課 完	ワ 課	課 ワ 観
6 7	「アニメーション」 しりとりをつなごう	さまざまな技法によるアニメーションを知り、撮影の仕方を工夫しコマ撮りアニメーションを制作する。	課 完	ワ 課 完	課 発 観
9 10	「生活を彩る」 模様で飾ろう	日本や諸外国の文様を鑑賞し、模様のデザインを考え、作った模様で日用品を飾る。	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観
11	「作家の生涯と作品」 葛飾北斎	葛飾北斎の作品を鑑賞し、その表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。	ワ 課	ワ 課	課 観
12	「版で表す」 詩の情景を木版画で表現しよう	浮世絵版画を鑑賞し、表現の特性やよさなどについて学び、詩から感じた情景を木版画で制作する。	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観
1 2 3	「抽象彫刻」 こころの中の感情を表そう	抽象作品を鑑賞し、表現の特性やよさなどについて学び、抽象彫刻を制作する。	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
美術	素描	3単位	2年	選択
選択条件	1年生または2年生で美術Iを履修する人			
対象者	2年生 ビジネス系列（1講座につき15名まで）			
取得資格				
学習のアドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作を行いましょう。 課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう。			
教材 実習費等	<実習費> 3000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	表現材料の特性について理解を深めている。 対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けている。	対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等を深めている。	造形表現を追求しようと取り組んでいる。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	デッサンの基礎	鉛筆の削り方 グラデーション・陰影のつけ方	課 完	課 完 発	発 観
5 6	幾何形態の鉛筆デッサン 立方体・円柱	モチーフの観察方法 正確な形体の捉え方 合評会・相互鑑賞	課 完	課 完 発	発 観
7	幾何形態の鉛筆デッサン 球・円錐	陰影による立体感の表現 合評会・相互鑑賞	課 完	課 完 発	発 観
9	スケッチ 身近なものを描く	様々な角度からの観察 合評会・相互鑑賞	課 完	課 完 発	発 観
10 11 12	静物の鉛筆デッサン (1～3点のモチーフの 組み合わせ)	正確な形体の捉え方 質感の描き分け 布、木、金属、紙、毛糸など 合評会・相互鑑賞	課 完	課 完 発	発 観
1 2 3	木炭デッサン (石膏像)	木炭の扱い方 質感・重量の表現方法 合評会・相互鑑賞	課 完	課 完 発	発 観

評価方法

☐：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
美術	絵画	3単位	3年	選択
選択条件	1年生または2年生で美術Iを履修した人			
対象者	3年生 ビジネス系列(1講座20名まで)			
取得資格				
学習のアドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作を行いましょう。 課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう。			
教材 実習費等	<実習費> 6000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	表現形式の特性について理解を深めている。 専門的な技能を身に付けている。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を深めている。	主体的に絵画表現の可能性を追求しようと取り組んでいる。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	スケッチ	物体の観察とスケッチ	課 完	課 完	観
5 6	水彩画	色の基礎知識 (色相・彩度・明度、混色) 美を感じる構図	ワ 課 完	課 完	課 観
7	鑑賞	西洋美術作品の鑑賞 作家の生涯・作風・制作姿勢に関する 調査とレポートの制作	ワ 課 完	課 完	課 観
9 10	水彩画	水彩絵の具を使用した絵画の模写	課 完	課 完	課 観
11 12	油彩画	油絵具の使用法・道具の扱い方 静物画の制作	ワ 課 完	課 完	課 観
1	イラストレーション	平面作品の構成 画材の特徴と表現方法	課 完	課 完	課 観
2	鑑賞	合評会・相互鑑賞	ワ 課	課 完 発	課 観 発

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
美術	クラフトデザイン	2単位	3年	選択
選択条件	1年生または2年生で美術Iを履修した人			
対象者	3年生 ビジネス系列（1講座につき20名まで）			
取得資格				
学習のアドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作を行いましょう 課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう			
教材 実習費等	<実習費> 5000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	美的な造形性や機能性について理解を深めている。 様々な表現方法や材料、用具を工夫して専門的な技能を身に付けている。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力・判断力・表現力を身に付けている。	主体的に造形の幅広い創作活動に取り組み、クラフトデザインの可能性を追求しようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	クラフトデザインの基礎	立体デザインの基礎 製図・作図実習 ペーパークラフトの制作 相互鑑賞	課 完	ワ 課 完	観 発
5	伝統工芸（工芸）	九谷焼の基礎 粘土の扱い方・粘土小物の制作 相互鑑賞	課 完	課 完	課 観 発
6 7	工芸（木材）	木を使用した日用品のデザイン 木材の小物制作 相互鑑賞	課 完	ワ 課 完	課 観
9 10	工芸（紙材）	紙を使用した照明器具のデザイン 照明器具の制作 相互鑑賞	課 完	課 完	課 観 発
11 12	工芸（ガラス）	ガラスリッツェンの技法 グラスタンブラーの制作 相互鑑賞1	ワ 課 完	ワ 課 完	課 観
1 2	工芸（金属）	鋳造の技法 アクセサリーのデザイン アクセサリーの制作 相互鑑賞	課 完	課 完	課 観

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
美術	OCGデザイン入門	4単位	3年	選択
選択条件	1年生または2年生で美術Iを履修した人			
対象者	3年生 ビジネス系列（1講座につき10名まで）			
取得資格				
学習のアドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作を行いましょう 課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう			
教材 実習費等	<実習費> 4000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	CGの表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けようとしている。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を深めている。	主体的にデザインやCGの表現の可能性を追求しようと取り組んでいる。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	CGデザインについて	マルチメディアに関する基礎知識 視覚伝達デザインの基礎	課 完	課 観	観
5	Photoshopの基本操作	画像処理・加工の方法 スキャナーの扱い方	課 完	課 完	課 観 発
6	Illustratorの基本操作	ベジェ曲線の操作方法 キャラクター制作	課 完	課 完	課 観
7	デザイン（ポストカード）	図形の組み合わせ ポストカードの制作 相互鑑賞	課 完	課 完	課 観
9 10	デザイン（ポスター）	グラフィックデザインの基礎 配色の基本 文字・画像の配置方法	課 完	課 完	課 観
11 12	デザイン（パッケージ）	デザインの機能と効果 コンセプトの設定 展開図・パッケージ制作	課 完	課 完	課 観
1 2	課題制作	PhotoshopとIllustratorの両方を使用した作品の制作 合評会・相互鑑賞	課 完	課 完	課 発 観

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
美術	○陶芸	2単位	2年	選択
選択条件	1年生または2年生で美術Iを履修する人			
対象者	2年生 進学系列人文コース ビジネス系列 (1講座につき10名まで)			
取得資格				
学習のアドバイス	主体的に授業に取り組み、納得のいくまで試行錯誤し制作を行いましょう。課題を期限までに必ず完成させ提出しましょう。			
教材 実習費等	<実習費> 3500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。様々な技法や用具を生かし、意図に応じて表現方法を工夫している。	陶芸作品や文化財から表現の独自性、美意識や創造性などを感じ取り、伝統文化や陶芸に対する見方や感じ方を深めている。焼成後の変化を想定し、粘土や釉薬の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に陶芸の表現及び鑑賞の幅広い創作活動に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	色絵の基礎	上絵の基礎技法 釉薬の化学的性質 焼成温度等磁器の基本的知識	課 完	課 完	課 観
5	色絵実習 I	面構成の基礎 五彩を用いた色面構成	課 完	課 完	課 観
6	色絵実習 II	絵皿の絵付け 九谷焼の伝統的な模様 大皿絵付け	課 完	課 完	課 観 発
7	ろくろ実習 I	ろくろ成形の基礎 湯呑み制作	課 完	課 完	課 観
9	手ひねり I 手ひねり II	陶土の基礎について 再生、土もみの基礎技法 手ひねり1器づくり	課 完	課 観	観
10	手ひねり III	手ひねり2照明器具	課 完	課 完	課 観 発
11	ろくろ実習 II	湯呑み絵付け	課 完	課 完	課 完
12					
1	成形 I	たたら技法 陶板皿制作	課 完	課 完	課 観
2	成形 II	釉薬の基礎 陶板皿釉がけ	課 完	課 完	課 観
3	鑑賞	作品鑑賞会	ワ	ワ	発 観

評価方法

ワ：ワークシート 課：課題 完：完成作品 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	書道 I	2単位	1年	選択必履修
選択条件				
対象者	1年生選択者（1講座につき20名まで）			
取得資格				
学習のアドバイス	道具を大切に扱い、常に美しい状態であることを心がけましょう。 落ち着いた態度で真剣に集中して作品制作に取り組もう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「書道 I」 <実習費> 1500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	書写から書道へ	用具、用材、執筆法	課 完	発	観
5	漢字の書	成立と変遷の理解	課	発	観
6	篆刻	落款と印について理解する	課 完	発	観
7	楷書 ・「宮成宮九成宮醜泉銘」 ・「孔子廟堂碑」	楷書の古典の鑑賞を通じて字形や線質、書風について理解し、表現の幅を広げる	課 完	発	観
9 10	行書 ・「蘭亭序」 ・「風信帖」	古典の鑑賞を通して、行書の特徴を理解し、その用筆を習得するとともに、意図に基づいた表現を行う態度を得る	課 完	発	観
11	漢字仮名交じりの書（1）	漢字仮名交じりの書の変遷と表現方法について理解する	課 完	発・ワ	観
12	仮名の書 ・単体、連綿、散らし書き	仮名の成立について理解し、表現する	課 完	発	観
1	生活の中の書 ・硬筆、筆ペン ・ハガキ（年賀状）	実用における表現、用筆について理解し、習得する	課 完	ワ・発	観
2	隸書 ・「曹全碑」	特徴的な用筆を習得する	課 完	発	観
3	漢字かな交じりの書（2） ・現代の書	感動や思いを表現する（創作）	課 完	発	観

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 課：課題 完：完成作品 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	書道 I	2単位	2年	選択
選択条件	1年生で書道 I を履修していない生徒			
対象者	2年生 進学系列人文コース、ビジネス系列（1講座につき20名まで）			
取得資格				
学習のアドバイス	道具を大切に扱い、常に美しい状態であることを心がけましょう。 落ち着いた態度で真剣に集中して作品制作に取り組もう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「書道 I」 <費用> 1500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

月	題材	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	書写から書道へ	用具、用材、執筆法	課 完	発	観
5	漢字の書	成立と変遷の理解	課	発	観
6	篆刻	落款と印について理解する	課 完	発	観
7	楷書 ・「宮成宮九成宮醴泉銘」 ・「孔子廟堂碑」	楷書の古典の鑑賞を通じて字形や線質、書風について理解し、表現の幅を広げる	課 完	発	観
9	行書 ・「蘭亭序」 ・「風信帖」	古典の鑑賞を通して、行書の特徴を理解し、その用筆を習得するとともに、意図に基づいた表現を行う態度を得る	課 完	発	観
10					
11	漢字仮名交じりの書（1）	漢字仮名交じりの書の変遷と表現方法について理解する	課 完	発 □	観
12	仮名の書 ・単体、連綿、散らし書き	仮名の成立について理解し、表現する	課 完	発	観
1	生活の中の書 ・硬筆、筆ペン ・ハガキ（年賀状）	実用における表現、用筆について理解し、習得する	課 完	□ 発	観
2	隸書 ・「菅全碑」	特徴的な用筆を習得する	課 完	発	観
3	漢字かな交じりの書（2） ・現代の書	感動や思いを表現する（創作）	課 完	発	観

評価方法

□：ワークシート・ノート 課：課題 完：完成作品 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
芸術	書道Ⅱ	2単位	3年	選択
選択条件	1年生または2年生で書道Ⅰを履修した人			
対象者	3年生 ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	道具を大切に扱い、常に美しい状態であることを心がけましょう。 落ち着いた態度で真剣に集中して作品制作に取り組みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「書道Ⅱ」 <実習費> 1500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書の高さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	漢字の書体とその特徴	・漢字の書体の成立を踏まえ、書体の特徴について確認する	課 完	発	観
	漢字の書 ①篆書「石鼓文」「甲骨文」	・個人的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める ・篆書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方について学び臨書する	課 完	発	観
5	②篆刻 創作・鑑賞	・印の歴史や役割、用法などを理解し、落款印を刻し、押印する	課 完	発	観
6	③隷書「礼器碑」「張遷碑」	・隷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び臨書する。	課 完		
7	④草書「書譜」	・個人的で多様な草書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。	ワ	発	観
9 10	⑤行書「集王聖教序」 「温泉銘」 「伊都内親王願文」	・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、臨書する。	課 完	発	観
11	⑥楷書「張猛龍碑」 「薦季直表」	・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、臨書する。	課 完	発	観

12	漢字仮名交じりの書 ①古典を生かした表現	・古典や古筆の特徴を生かして、漢字と仮名を調和する表現・言葉や詩文をこれまでの学習で学んだ技法を生かし、意図に基づいて創作し、作品を通して思考や感動を表現する。	課 完	発	観
1	②創作・鑑賞	・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する	課 完	発	観
2	③心に触れる手紙	・手書きで書かれた手紙について鑑賞する。 ・それぞれが描かれた背景や内容について考える。	ワ	発	観

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 課：課題 完：完成作品 発：発表 観：観察 など